はじめにお伝えしておきたいこと

漢字の学習は、どの学年においても、とても大切です。

しかし、漢字ドリルの宿題は、とりあえずやり終えるものとして決まった字数を書き終えて終了しているのが現状です。

携帯電話が普及し、文字を書くという機会が極端に少なくなったこともあり、子供だけではなく、大人の漢字離れも大きな問題となっています。

しかし、良書に触れる際にも、自分の考えを持ち、それをまとめ上げて文章化する際にも、漢字の習得は不可欠です。

教室で子供たちと接していると、覚える作業（暗記）をめんどうくさいという子供たちが増え続けています。

覚えていくことについては、いかに記憶に残る形で取り組ませるかがキーポイントとなります。

このドリルは、習った漢字を使って短文を作り、その短文を絵に表します。その漢字が、どういう時に使える漢字なのかを考えて、イメージしたものと一緒に漢字を覚えていきます。

子供の中には、自分が描いた絵とともに使った漢字が記憶に残っていきます。